Panasonic®

取扱説明書

パーソナルコンピューター

品番 **CF-H2** シリーズ

もくじ　　ページ

安全上のご注意

お使いになる前に

上手にお使いいただくために

困ったときは

必要なときに

詳しい操作方法については、『操作マニュアル』をお読みください。『操作マニュアル』を読むには「画面で見るマニュアル」（➡ 14ページ）をご覧ください。

保証書別添付

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」（2 ～ 5ページ）を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
- 製品の品番は、本体底面の品番表示または「仕様」でご確認ください。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

危険	「死亡や重傷を負うおそれが大きい内容」です。
警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

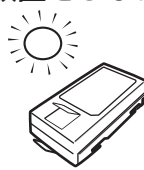
バッテリーパックに関する注意 ⚠ 危険

火中に投入したり加熱したりしない

禁止

発熱・発火・破裂の原因になります。

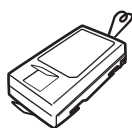
火のそばや炎天下など、高温の場所で充電・使用・放置をしない

禁止

液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。

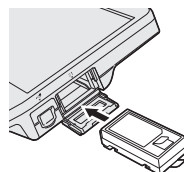
指定の方法で充電する

指定の方法で充電しないと、液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。

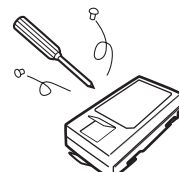
プラス（＋）とマイナス（－）を金属などで接触させない

禁止

発熱・発火・破裂の原因になります。

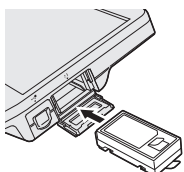
● ネックレス、ヘアピンなどといっしょに持ち運んだり保管したりしないでください。

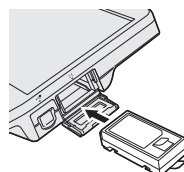
必ず、指定のバッテリーパックを使用する

指定（付属および指定の別売り商品）以外のバッテリーパックを使用すると、発熱・発火・破裂の原因になります。

クギを刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしたりしない

禁止

液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。

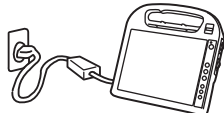
● 強い衝撃が加わったら、すぐに使用をやめてください。

付属のバッテリーパックは、必ず本機で使用する

CF-H2シリーズ専用のバッテリーパックです。CF-H2シリーズ以外に使用すると、液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。

劣化したら新品と交換する

劣化したバッテリーパックを使用し続けると、発熱・発火・破裂の原因になります。

⚠ 警告

異常・故障時には直ちに使用をやめる

異常が起きたらすぐに電源プラグとバッテリーパックを抜く

- 破損した
- 内部に異物が入った
- 煙が出ている
- 異臭がする
- 異常に熱い

そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。

● すぐに本機の電源を切って電源プラグを抜き、その後バッテリーパックを取り外して、販売店に修理についてご相談ください。

電源コード・電源プラグ・ACアダプターを破損するようなことはしない

（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない）

禁止

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

● コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

電源プラグのほこりなどは定期的にとる

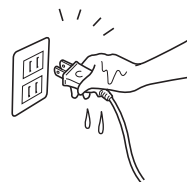
プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

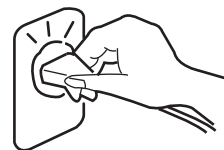
● 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100 V以外での使用はしない

禁止

たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

ぬれた手で電源プラグの抜き挿しはしない

感電の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に挿し込む

挿し込みが不完全ですと、感電や、発熱による火災の原因になります。

● 傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

分解や改造をしない

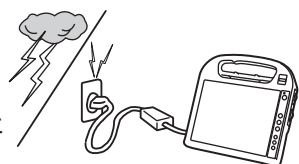
分解禁止

感電や、異物の混入などによる火災の原因になります。

水、湿気、湯気、ほこり、油煙などの多い場所で使用する場合は、コネクターカバーをしっかりと閉じる

内部に異物が入ると、火災・感電の原因になります。

● 内部に異物が入った場合は、すぐに電源を切って電源プラグを抜き、その後バッテリーパックを抜いて、販売店にご相談ください。

雷が鳴り始めたら、本機やケーブルに触れない

感電の原因になります。

長時間直接触れて使用しない

禁止

本機やACアダプターの温度の高い部分に長時間、直接触れていると、低温やけど※1の原因になります。

アース端子を電源コンセントに挿し込まない

禁止

火災、感電の原因になります。

※1 血流状態が悪い人（血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている）や皮膚感覚が弱い人（高齢者）などは、低温やけどになりやすい傾向があります。

警告

航空機内では電源を切る※2

運航の安全に支障をきたすおそれがあります。航空機内での使用については、航空会社の指示に従ってください。

自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しない

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

病院内や医用電気機器のある場所では電源を切る※2（フィールドモデルのみ）

手術室、集中治療室、CCU※3などには持ち込まないでください。本機からの電波が医用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

医療用機器に近づけない※2（ヘルスケアモデルのみ）

手術室、集中治療室、CCU※3などには持ち込まないでください。本機からの電波が医用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

植込み型心臓ペースメーカーの装着部位から22 cm以上離す

電波によりペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があるので、電源を切る※2

電波によりペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

※2 やむをえずこのような環境でパソコン本体を使用するときは、無線切り替えユーティリティで無線機能をオフにしてください。ただし、航空機の離着陸時など、無線の電源を切ってもパソコンの使用が禁止されている場合もありますので、注意してください。

※3 CCUとは、冠状動脈疾患監視病室の略称です。

⚠ 注意

電源プラグを接続したまま移動しない

電源コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

● 電源コードが傷ついた場合は、すぐに電源プラグを抜いて販売店にご相談ください。

電源コードは、プラグ部分を持って抜く

電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

1時間ごとに10～15分間の休憩をとる

長時間続けて使用すると、目や手などの健康に影響を及ぼすことがあります。

高温の場所に長時間放置しない

火のそばや炎天下など極端に高温になる場所に放置すると、キャビネットが変形したり、内部の部品が故障または劣化したりすることがあります。このような状態のまま使用すると、ショートや絶縁不良などにより火災・感電につながることがあります。

必ず指定のACアダプターを使用する

指定（付属および指定の別売り商品）以外のACアダプターを使用すると、火災の原因になることがあります。

ACアダプターに強い衝撃を加えない

落とすなどして強い衝撃が加わったACアダプターをそのまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になることがあります。

● ACアダプターの修理は、販売店にご相談ください。

不安定な場所に置かない

バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。

本機の上に重いものを置かない

バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。

高温環境・低温環境で使用する場合、直接触れない（フィールドモデルのみ）

やけどや低温やけど、凍傷の原因になることがあります。

● 指紋の読み取りなどで直接触れる必要がある場合は、できるだけ短時間で操作してください。

LANコネクターに電話回線や指定以外のネットワークを接続しない（LAN内蔵モデルのみ）

LANコネクターに以下のようなネットワークや回線を接続すると、火災・感電の原因になることがあります。

● 1000BASE-T、100BASE-TX、10BASE-T以外のネットワーク
● 電話回線（IP電話、一般電話回線、内線電話回線（構内交換機）、デジタル公衆電話など）

<フィールドモデルのみ>
● 高温環境で継続的に使用すると製品寿命が短くなります。このような環境での使用は避けてください。
● 高温環境・低温環境で使用する場合、周辺機器の一部は正常に動作しない場合があります。周辺機器の使用環境条件を確認してください。

本書について

本書では名称などを以下のように表記します。

● Windows 7 はWindows 7を指します。
● Windows XP はWindows XPを指します。

■表記

➡：　本書内や、パソコン本体に保存されている『操作マニュアル』などの参照先。

：　画面で見るマニュアルのこと。

お願い：　安全にお使いいただくための情報。

お知らせ：　お使いいただくうえで便利な情報。

クリック：　デジタイザーペンまたは指で画面に触れること。

右クリック：　デジタイザーペンまたは指で対象に触れ続けて、Windows 7 周りに円が描かれたら／Windows XP マウスマークが表示されたら離すこと。または、デジタイザーペンのボタンを押しながら対象に触れること。

Windows 7
（スタート）- [すべてのプログラム]：
　画面上の（スタート）をクリックした後、[すべてのプログラム] をクリックすること。

Windows XP
[スタート] - [すべてのプログラム]：
　画面上の[スタート]をクリックした後、[すべてのプログラム] をクリックすること。

<外部キーボードを接続している場合>

↵：　キーボードの[↵]（Enter）キーを押すこと。

Ctrl + F7：　キーボードのCtrlキーを押しながらF7キーを押すこと。

●接続するキーボードによって、キーの表示が一部異なる場合があります。

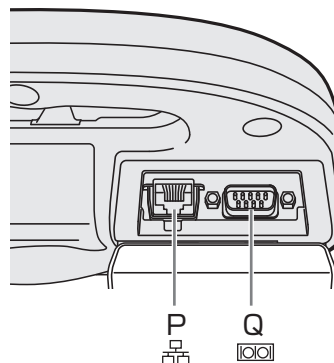
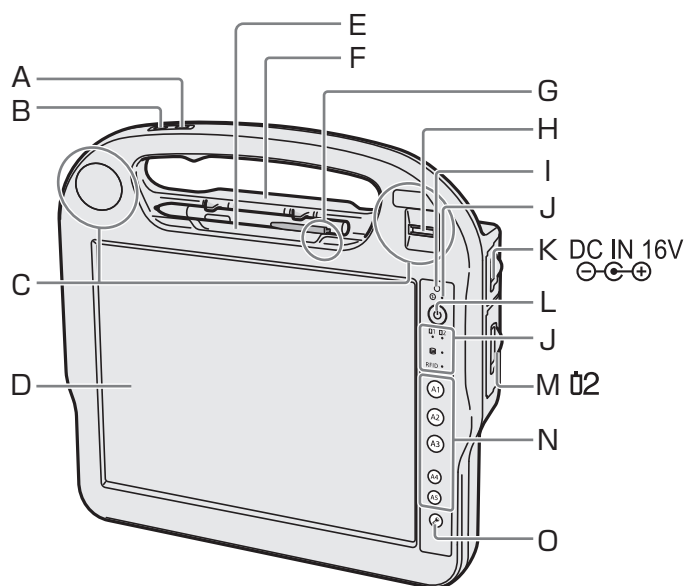
<フラッシュメモリードライブ内蔵モデルの場合>

本書内の「ハードディスク」および「ハードディスクドライブ」を「フラッシュメモリードライブ」と読み替えてください。

●「Windows® 7 Professional 32ビット正規版（Service Pack 1適用済み）（日本語版）」と「Windows® 7 Professional 64ビット正規版（Service Pack 1適用済み）（日本語版）」を「Windows」または「Windows 7」と表記します。
●「Microsoft® Windows® XP Tablet PC Edition Service Pack 3正規版（日本語版）」を「Windows」または「Windows XP」と表記します。
●本書はフィールドモデル(CF-H2Aシリーズ)、ヘルスケアモデル(CF-H2Bシリーズ)共用です。共通でない部分は、フィールドモデル・ヘルスケアモデルと区別して説明しています。
●本書では、コンピューターの管理者の権限でログオンした場合の手順や画面表示で説明しています。
●本書では、工場出荷時の設定状態での操作を説明しています。
●別売品の最新情報については、カタログなどをご覧ください。
●本書の内容に関しましては、事前の予告なしに変更することがあります。
●本書の内容の一部またはすべてを無断転載することを禁止します。
●落丁、乱丁はお取り換えします。
●本書のイラストや画面は一部実際と異なる場合があります。
●デジタイザーペン／指を使った入力対象を「画面」と表記する場合があります。

■商標

お使いになる前に

各部の名称と働き

A：B1 ボタン
<RFID リーダー内蔵モデルのみ>
➡ 『操作マニュアル』「RFID リーダー」「ハードウェアボタン」
<RFID リーダー非内蔵モデルのみ>
➡ 『操作マニュアル』「ハードウェアボタン」

B：バーコードリーダーボタン※1 / B2 ボタン※2
※1 バーコードリーダー内蔵モデルのみ
※2 バーコードリーダー非内蔵モデルのみ
➡ 『操作マニュアル』「バーコードリーダー」「セットアップユーティリティ」

C：ワイヤレス WAN アンテナ
＜ワイヤレス WAN 内蔵モデルのみ＞

D：LCD
➡ 『操作マニュアル』「ペン入力 / タッチ入力」

E：ペンホルダー

F：スマートカードスロット
＜スマートカードスロット内蔵モデルのみ＞
➡ 『操作マニュアル』「スマートカード」

G：Bluetooth アンテナ
＜ Bluetooth 内蔵フィールドモデルのみ＞
➡ 『操作マニュアル』「Bluetooth」

H：指紋センサー
＜指紋センサー内蔵モデルのみ＞
➡ 『操作マニュアル』「指紋センサー」

I：照度センサー
明るい場所ではバックライトを消し、バッテリーの駆動時間が長くなるよう調整します。隠すと機能しません。
➡ 『操作マニュアル』「セットアップユーティリティ」

J：状態表示ランプ
電源：電源状態表示ランプ
・消灯：電源オフまたは休止状態
・緑点灯：電源オン
・緑点滅：Windows 7 ：スリープ
Windows XP ：スタンバイ
1：バッテリー 1 状態表示ランプ
➡ 『操作マニュアル』「バッテリーパック」
2：バッテリー 2 状態表示ランプ
➡ 『操作マニュアル』「バッテリーパック」
：ハードディスク状態表示ランプ
RFID：RFID リーダーの状態
➡ 『操作マニュアル』「RFID リーダー」

K：電源端子

L：電源スイッチ

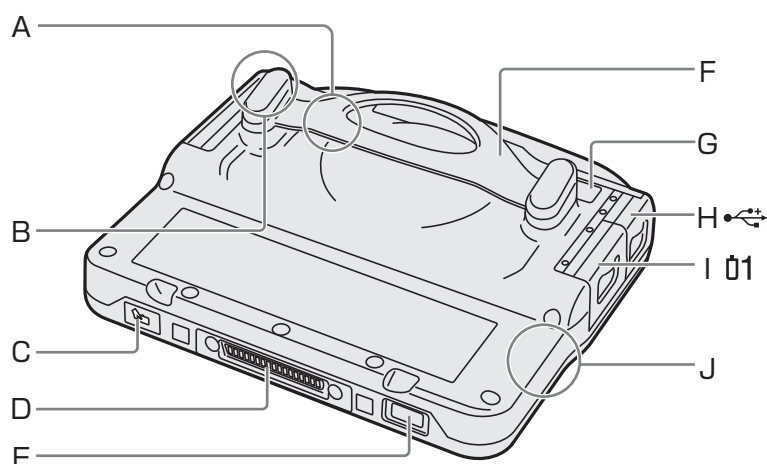
M：バッテリー 2 ケース

N：アプリケーションボタン 1-5
➡ 『操作マニュアル』「ハードウェアボタン」

O：セキュリティボタン

P：LAN ポート※3 / 2nd USB 2.0 ポート※4
※3 LAN 内蔵モデルのみ
※4 2nd USB 2.0 ポート内蔵モデルのみ

Q：シリアルポート
➡ 『操作マニュアル』「シリアルポート」

底側

A：GPS アンテナ
<GPS 内蔵モデルのみ>

B：ワイヤレスLANアンテナ
<ワイヤレスLAN内蔵モデルのみ>
➡ 『操作マニュアル』「無線 LAN機能」

C：RFID リーダー
<RFID リーダー内蔵モデルのみ>
➡ 『操作マニュアル』「RFID リーダー」

D：拡張バスコネクター
➡ 『操作マニュアル』「クレードル」

E：バーコードリーダー
<バーコードリーダー内蔵モデルのみ>
➡ 『操作マニュアル』「バーコードリーダー」

F：ハンドストラップ

G：カメラ
<カメラ内蔵モデルのみ>
➡ 『操作マニュアル』「カメラ」

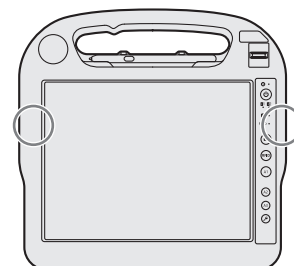
H：USB 2.0ポート
➡ 『操作マニュアル』「USB機器」

I：バッテリー 1 ケース
<ワイヤレスWAN内蔵モデルのみ>
FOMA カードスロット
バッテリー 1 ケースの中にあります。

J：無線 LAN アンテナ
<フィールドモデルのみ>
無線 LAN アンテナ / Bluetooth アンテナ
<ヘルスケアモデルのみ>
➡ 『操作マニュアル』「無線 LAN機能」「Bluetooth」

お知らせ

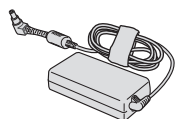
- 本機には、バッテリーカバー（右図の○で囲んだ部分）に磁石および磁気製品が使用されています。これらの部分に、金属や磁気メディア、磁気カードを接触させないようにしてください。

<ワイヤレスWAN内蔵モデルのみ>
- IMEI（International Mobile Equipment Identityの略）がバッテリー 1 ケースのラベルに表示されています。

準備

■ 準備

① **付属品を確認する。**

万一足りない場合、または購入したものと異なる場合は、ご相談窓口にお確かめください（➡31ページ）。

・ACアダプター . . . . . . 1　・電源コード※1（3ピンタイプ）. . . . . 1　・バッテリーパック . . . . 2　・ペン用ケーブル 1

品番 CF-AA6373A

品番 CF-VZSU53AJS

・専用布 . . . . 1　・デジタイザーペン 1

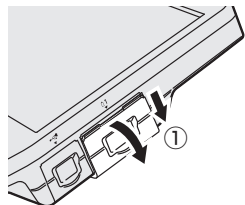
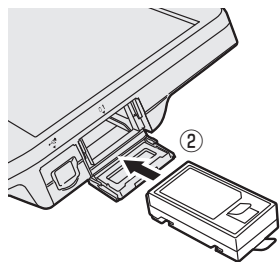
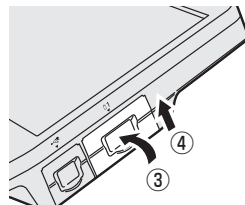
<フィールドモデルのみ> 品番 CF-VNP011AU
<ヘルスケアモデルのみ> 品番 CF-VNP016AU
（➡ 『操作マニュアル』「ペン入力 / タッチ入力」）

・取扱説明書（本書）※2 1
・プロダクトリカバリー DVD-ROM Windows® 7 Professional SP 1 1
・保証書 1

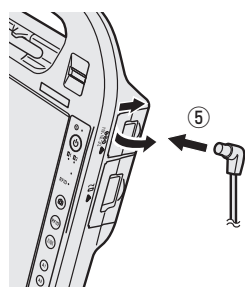
※1 付属の電源コードは、CF-AA6373A以外の製品などに転用しないでください。　28-J-1
必ず接地接続を行ってください。接地接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。
また、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。　31-J-2
※2 本書以外に説明書が付属されている場合は、その説明書も必ずお読みください。以下の手順を行う際に追加の操作が必要になる場合があります。

② **パソコン本体の包装袋のシールをはがす前に、ソフトウェア使用許諾書の内容を確認する（➡24ページ）。**

■ バッテリーパックを取り付ける

本機では2個のバッテリーパックを使用します。

① **バッテリーカバーをスライドして開ける。**

② **左図の向きに、バッテリーパックを奥までしっかりと挿入する。**

③ **バッテリーカバーを閉じる。**
④ **カチッと音がするまでカバーをスライドする。**

お願い

● バッテリーカバーがロックされていないとパソコンは動作しません。カバーがきちんとロックされていることを確認してください。
● ラッチが正しくロックされていることを確認してください。ロックされていない状態でパソコンを持ち運ぶと、バッテリーパックが落ちるおそれがあります。
● バッテリーパックとパソコンのコネクター部には触れないでください。コネクターが汚れたり損傷したりすると、接触が悪くなり、バッテリーやパソコンが正しく動作しないことがあります。

⑤ **電源端子のカバーを開け、ACアダプターを接続する。**

自動的にバッテリーの充電が始まります。
パソコンをクレードル（別売り）に取り付けて充電することもできます（➡11ページ）。

お使いになる前に

■本機のバッテリーについて

本機では、2個のバッテリーパックを使用します。
どちらか一方の充電または放電が終わると、自動的に反対側に切り替わります。

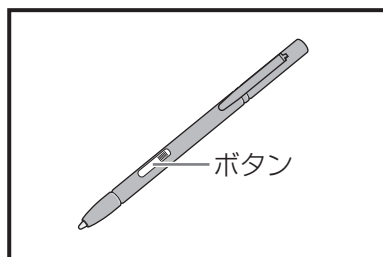
- ●パソコンをクレードル（別売り：CF-VEBH21U）に接続しているときは、クレードルに電源コードを接続することで充電を行えます。
- ●バッテリーチャージャー（別売り：CF-VCBU11U）またはクレードル（別売り：CF-VEBH21U）をお持ちの場合は、どちらかのバッテリーパックを使用している間に、もう一方のバッテリーパックを取り外すことができます。
- ●バッテリーパックの取り付け/取り外しは電源が入った状態でも行えますが、使用中のバッテリーパックを間違って取り出さないでください。（➡ 『操作マニュアル』「バッテリーパック」）
- ●バッテリー状態表示ランプが赤色に点灯したときは、早めに充電してください。
- ●バッテリー残量表示補正について
  バッテリー容量が大きいため、バッテリー残量表示補正に時間がかかりますが、故障ではありません。
  - ・満充電にかかる時間：約3時間（最大）（2個）
  - ・完全放電にかかる時間：約4時間（2個）

お知らせ

●パソコンがオフのときでも、電力を消費します。満充電のバッテリーの残量がなくなるまでの期間は次のとおりです。

- ・電源オフの場合：約10週間
- ・Windows 7 スリープ/ Windows XP スタンバイの場合：約3日間※3
- ・休止状態の場合：約6日間※3

※3 <LAN内蔵モデルのみ>
「Wake Up from LAN機能」を無効に設定すると、バッテリー残量保持期間が少し長くなります。また、休止状態でのバッテリー残量保持期間が、電源オフ時と同じになります。

■デジタイザーペンの使い方

画面タッチ機能を使うとマウスを使用する感覚で、画面に触れてWindowsを操作することができます。付属のデジタイザーペンで画面の表面に触れてください。

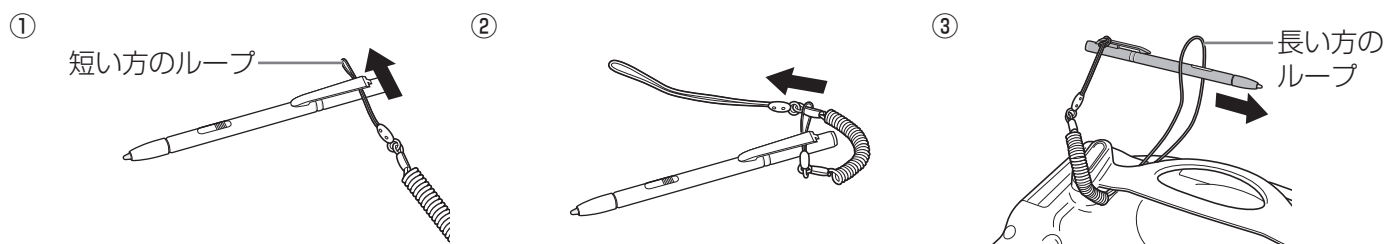
右クリックのしかた

Windows 7

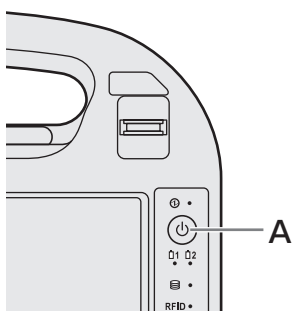
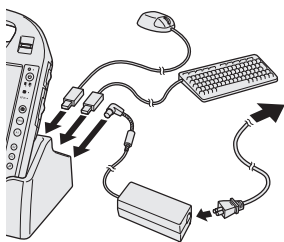
デジタイザーペンで右クリックの対象に触れ続け、周りに円が描かれたら離す。またはデジタイザーペンのボタンを押しながら対象に触れる。

Windows XP

デジタイザーペンで右クリックの対象に触れ続け、マウスマークが表示されたら離す。またはデジタイザーペンのボタンを押しながら対象に触れる。

デジタイザーペンの取り付け方

①
②
③
お願い

●ペン用ケーブルを強く引っ張らないでください。デジタイザーペンを離したときに、パソコン本体や人などに当たることがあります。

■パソコンの設定

1　パソコンをクレードル（別売り）に取り付ける。

●パソコンをクレードルに取り付けて、外部キーボードと外部マウスをクレードルに取り付けてください。
●ACアダプターをクレードルおよびコンセントに接続してください。
自動的にバッテリーの充電が始まります。

お願い

●「パソコンの設定」が完了するまで、パソコンをクレードルから取り外さないでください。
●初めて使うときは、バッテリーパック、クレードル、外部キーボード、外部マウスおよびACアダプター以外の機器を接続しないでください。

2　パソコンの電源を入れる。

① 電源スイッチ（A）を押す。
電源状態表示ランプ⏻が点灯したら手を離します。

お願い

●電源スイッチを連続して繰り返し押さないでください。
●電源スイッチを４秒以上押すと、パソコンが強制終了します。
●電源を切った後、再び電源を入れるまでは、10秒以上お待ちください。
●ハードディスク状態表示ランプ🖴が消灯するまで、次の操作は行わないでください。
・ACアダプターを抜き挿しする
・電源スイッチを操作する
・画面、外部キーボードおよび外部マウスに触れる
●CPUの温度が高いときは、過熱を防ぐためパソコンが起動しないことがあります。温度が下がるまで待ってから電源を入れてください。温度が下がっても起動しない場合は、ご相談窓口にご相談ください（➡31ページ）。
●「パソコンの設定」が完了するまで、セットアップユーティリティの工場出荷時の設定は変えないでください。

3　Windowsをセットアップする。

① 画面の指示に従って操作を行う。
●パソコンは、何度か再起動を繰り返します。その間、外部キーボードやマウス、画面に触れず、ハードディスク状態表示ランプ🖴が消えるまでお待ちください。
●「パソコンの設定」が完了するまでペン入力 / タッチ入力はできません。外部キーボードか外部マウスを使ってください。

Windows 7

●電源を入れた後、Windowsのセットアップ画面が表示されるまでの間、画面が真っ黒になったり、ポインターだけが表示された状態がしばらく続いたりしますが、故障ではありません。そのままお待ちください。
●Windowsのセットアップは、約20分かかります。画面のメッセージを確認してから、次の手順に進んでください。
●[時刻と通貨の形式]の設定を変更しないでください。
●「ワイヤレスネットワークの接続」画面が表示されない場合がありますが、無線通信の設定は、Windowsセットアップが終了してから行うことができます。

お願い

● Windows 7 ユーザー名とパスワードにCON、PRN、AUX、CLOCK$、NUL、COM1 ～ COM9、LPT1 ～ LPT9、@を使用しないでください。特に「@」を含んだユーザー名を設定すると、パスワードを設定していなくてもログオン画面でパスワードの入力が求められます。空白でログオンしようとしても「ユーザー名またはパスワードが正しくありません」と表示され、ログオンできなくなります。ログオンできない場合は、Windowsの再インストールが必要になります。(➡ 17ページ)
● ユーザー名、パスワード、背景(壁紙)、ワイヤレスネットワーク(Windows 7)セキュリティ設定(Windows XP)は、Windowsのセットアップ後に変更できます。
● パスワードを忘れないでください。パスワードを忘れると、Windowsにログオンできなくなります。あらかじめパスワードリセットディスクを作成しておくことをお勧めします。

Windows XP

● ユーザー名とパスワードにCON、PRN、AUX、CLOCK$、NUL、COM1 ～ COM9、LPT1 ～ LPT9は使用できません。
● 日付/時間/タイムゾーンを設定し、[次へ]をクリックした後、次の手順の画面が表示されるまで数分間かかることがあります。画面が切り替わるまで、画面、外部キーボードおよび外部マウスには触れないでください。
●「予期しないエラーが発生しました」(または同様のメッセージ)が表示されたら、[OK]をクリックしてください。故障ではありません。

4　タッチパネルの調整(キャリブレーション)を実行する。

お願い

● 調整する前にTablet PC入力パネルを閉じてください。
● 調整する前に画面の位置を[横(プライマリ)]にしてください。
● MS-IMEの言語バーをタスクバーに格納するか、画面の中央などに移動しておいてください。

① Windows 7 (スタート)/ Windows XP [スタート]-[すべてのプログラム]-[Panasonic]-[キャリブレーションユーティリティ]をクリックする。
② Windows 7 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[はい]をクリックする。
③ [ペン入力(デジタイザ)]をクリックする。
④ 画面に表示される[+]マークの中心を、デジタイザーペンでクリックし、Windows 7 [はい]/ Windows XP [OK]をクリックする。
⑤ ①、②を繰り返す。
⑥ [タッチ入力]をクリックする。
⑦ 画面に表示される[+]マークの中心を、指でクリックし、Windows 7 [はい]/ Windows XP [OK]をクリックする。

Windows XP

5　新しいユーザーアカウントを作成する。

① [スタート] - [コントロールパネル] - [ユーザーアカウント] - [新しいアカウントを作成する] をクリックする。

お願い

● パスワードを忘れないでください。パスワードを忘れると、Windowsにログオンできなくなります。あらかじめパスワードリセットディスクを作成しておくことをお勧めします。

お知らせ

●PC情報ビューアー
本機では、ハードディスクドライブの管理情報などがハードディスク内に定期的に記録されます。記録されるデータ量は、1回あたり最大1024バイトです。これらの情報は、万が一ハードディスクが故障したときの原因を推定するためにのみ使用するもので、本情報をネットワーク経由で外部に発信したり、目的以外に使用したりすることはありません。この機能を無効にするには、PC情報ビューアーの[ハードディスク使用状況]の[管理情報の履歴を自動的に記録する機能を無効にする]のチェックボックスにチェックマークを付けて[OK]をクリックしてください。(➡『操作マニュアル』「困ったときは(詳細編)」の「パソコンの使用状態を確認する」)

■起動/シャットダウンするとき

●次の操作は行わないでください。
- ACアダプターを抜き挿しする
- 電源スイッチを操作する
- 画面、外部キーボードおよび外部マウスに触れる

お知らせ

●電力の消費を抑えるために、工場出荷時には次のように設定されています。(ACアダプター接続時)
- 何の操作もせずに Windows 7 10分/ Windows XP 15分が経過するとLCDの画面は自動的にオフになる。
- 何の操作もせずに20分が経過すると、パソコンは自動的に Windows 7 スリープ/ Windows XP スタンバイ状態になる。
  Windows 7 スリープ/ Windows XP スタンバイ状態からのリジュームについては、➡『操作マニュアル』「スリープ/スタンバイ・休止状態」をご覧ください。

■Windowsにログオンするときの注意

●ゲストアカウントでログオンしないでください。

Windows 7

■パーティションを変更する

1つのハードディスクに複数のパーティションを作成することで、1つのハードディスクを複数のディスクのように扱うことができます。工場出荷時、データの保存などに使用できるパーティションは1つです。

① (スタート)をクリックし、[コンピューター]を右クリックして、[管理]をクリックする。
- 標準ユーザーは管理者のユーザーアカウントのWindowsパスワードを入力します。

② [ディスクの管理]をクリックする。

③ Windowsが使用しているパーティション(工場出荷時はCドライブ)を右クリックし、[ボリュームの縮小]をクリックする。
- パーティションのサイズなどはモデルによって異なります。
- 再インストール(➡17ページ)する際に[最初の2パーティションに再インストールする。]を選択するためには、[縮小後の合計サイズ]が30000 MB以上になるように設定する必要があります。

④ [縮小する領域のサイズ]を入力し、[縮小]をクリックする。
- 画面に表示されているサイズよりも大きなサイズには指定できません。

⑤ [未割り当て]領域を右クリックし、[新しいシンプル ボリューム]をクリックする。
- [未割り当て]領域は手順④で縮小した領域です。

⑥ 画面の指示に従って操作を行い、[完了]をクリックする。
- 画面にフォーマットの進行が表示されますので、終了するまでお待ちください。

お知らせ

●[未割り当て]領域が残っている場合は手順⑤から、Windowsの領域にまだ余裕がある場合は手順③からの操作を行うことで、新しいパーティションを追加できます。
●パーティションを削除するには、手順③の画面で削除するパーティションを右クリックし、[ボリュームの削除]をクリックしてください。

Windows XP

■ハードディスクのバックアップと復元

●ハードディスク全体のバックアップを作成したりバックアップしたデータを復元したりするには、市販のソフトウェアをご利用ください。

画面で見るマニュアル

パソコンの画面上で、以下のマニュアルを見ることができます。

■操作マニュアル

『操作マニュアル』は、本機を十分に活用していただくための機能について説明しています。

『操作マニュアル』を見るには

Windows 7

① デスクトップの をダブルクリックする。

●または、（スタート）- [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [オンラインマニュアル] - [操作マニュアル]をクリックする。

Windows XP

① [スタート] - [操作マニュアル]をクリックする。

『操作マニュアル』の『バッテリー等の上手な使い方』にバッテリーの使い方について役立つ情報を記載しています。

『バッテリー等の上手な使い方』を見るには

Windows 7

① デスクトップの をダブルクリックする。

●または、（スタート）- [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [オンラインマニュアル]（または[バッテリー]）- [バッテリー等の上手な使い方]をクリックする。

Windows XP

① デスクトップの をダブルクリックする。

●または、[スタート] - [すべてのプログラム] - [Panasonic] - [オンラインマニュアル]（または [バッテリー]）- [バッテリー等の上手な使い方] をクリックする。

お知らせ

●PDF形式のファイルを初めて起動したときは、Adobe Readerの「使用許諾契約書」画面が表示されます。内容をよく読み、[同意する]をクリックして先に進んでください。

●Adobe Readerのアップデートのお知らせ画面が表示されたら、画面の指示に従って最新バージョンにアップデートすることをお勧めします。
Adobe Readerの最新版については下記ホームページにアクセスしてください。
http://www.adobe.com/jp/

取り扱いとお手入れ

操作環境について

●パソコンは平らで落下のおそれのないところに置いてください。また、クレードル以外に立てて置かないでください。倒れて本体に強い衝撃が加わると、誤動作や故障の原因になります。
●適切な温度範囲：　操作時：＜フィールドモデル＞　-10 ℃～ 50 ℃（IEC60068-2-1, 2）※1、
　　　　　　　　　　　　　＜ヘルスケアモデル＞　5 ℃～ 35 ℃
　　　　　　　　　保管時：＜フィールドモデル＞　-40 ℃～ 85 ℃
　　　　　　　　　　　　　＜ヘルスケアモデル＞　-20 ℃～ 60 ℃
　適切な湿度範囲：　操作時：30 % RH ～ 80 % RH（結露なきこと）
　　　　　　　　　保管時：30 % RH ～ 90 % RH（結露なきこと）
　上記の温度 / 湿度の範囲であっても、極端な環境で長時間ご使用になると、パソコンの劣化につながり、製品寿命が短くなる可能性があります。
　※1 高温環境・低温環境で使用する場合、直接触れないでください。（➡5ページ）
　　0 ℃以下の場所でパソコンがぬれていると、凍結による故障の原因になることがあります。0 ℃以下の場合は十分に乾燥させてください。
●パソコンが損傷するおそれがあるため、次の場所には置かないでください。
・電気製品の近く。画像が乱れたり、雑音が起きたりすることがあります。
・極端に高温または低温のところ。
●操作中は、パソコンの温度が上昇しますので、熱に弱いものを近くに置かないでください。

取り扱い上のご注意

本機は、ディスプレイやハードディスクへの衝撃が小さく抑えられるよう設計されていますが、衝撃による故障は保証しかねます。取り扱いには十分注意してください。
●パソコンを持ち運ぶとき
・パソコンの電源を切ってください。
・ハンドル部分を持って運んでください。
・落としたり、硬いものにぶつけたりしないでください。
●航空機には手荷物として持ち込んでください。航空機内での使用については、航空会社の指示に従ってください。
●予備のバッテリーパックを持ち運ぶときは、コネクター保護のためビニール袋などに入れてください。
●ハンドストラップの破損によるパソコンの落下に注意してください。
●画面の上にものを置いたり、跡が付くような先のとがったものや硬いもの（つめ、鉛筆、ボールペンなど）で強く押したりしないでください。
●画面にほこりや油などの汚れが付着したときは、デジタイザーペンを使わないでください。画面やデジタイザーペンに異物が付着していると、画面に傷を付けたり、デジタイザーペンの操作ができなくなったりすることがあります。
●デジタイザーペンは、画面操作以外の用途に使わないでください。別の用途に使うと、デジタイザーペンが損傷したり、画面に傷を付けたりすることがあります。

■周辺機器を使用する場合

周辺機器の損傷を防ぐため、下記および『操作マニュアル』の記載事項をお守りください。また、周辺機器の取扱説明書をよくお読みください。
●パソコンの仕様に合った周辺機器を使用してください。
●コネクターの形状、向きに注意して正しく接続してください。
●接続しにくい場合は、無理に押し込まず、コネクターの形状、向き、ピンの並び方などを確認してください。
●ネジで固定する場合は、しっかり締めてください。
●パソコンを持ち運ぶときは、ケーブルを外してください。ケーブルは無理に引っ張らないでください。

お手入れ

ディスプレイのお手入れ
付属の専用布をお使いください。（詳しくは『操作マニュアル』の『LCD画面清掃についてのお願い』をご覧ください。）
ディスプレイ以外のお手入れ
＜フィールドモデル＞
ガーゼなどの柔らかく乾いた布でふいてください。消毒用アルコールは使わないでください。
洗剤を使うときは、水で薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸し、かたく絞ってください。
＜ヘルスケアモデル＞
ガーゼなどの柔らかく乾いた布でふいてください。必要に応じて消毒用アルコールを使ってお手入れすることができます。洗剤を使うときは、水で薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸し、かたく絞ってください。

お願い

●ベンジンやシンナー、強アルカリ性の洗剤などは使わないでください。本体表面に影響を与える場合があります。また、市販のクリーナーや化粧品の中にも、本体表面に影響を与える成分が含まれている場合があります。
●水や洗剤を直接かけたり、スプレーで噴きかけたりしないでください。液体がパソコンの内部に入ると、誤動作や故障の原因になります。
< ヘルスケアモデル >
●本製品の背面ラベル部の表面には、アルコールでのお手入れによって印刷文字が消えないように、特殊なカバーフィルムを貼り付けています。このカバーフィルムには、上記アルコールへの耐久性を高めるために特殊な接着剤を使用しており、部分的に白くなったり、気泡が発生したりすることがありますが、異常ではありません。

省電力設定について

本製品は、デバイスへのアクセスや操作がない状態が一定時間続いたときに省電力機能が働くなど、国際エネルギースタープログラムに準拠した電力管理が工場出荷時に設定されています。本機を使用していない間の消費電力を削減することができます。（➡『操作マニュアル』「消費電力を節約する」）
• Windows 7 スリープ/ Windows XP スタンバイ・休止状態から復帰する方法については、『操作マニュアル』「スリープ/スタンバイ・休止状態」をご覧ください。

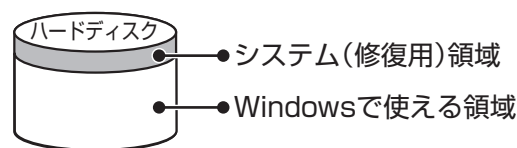
無線 LANご使用時のセキュリティについて

<無線 LAN内蔵モデルのみ>
工場出荷時、無線 LANのセキュリティに関する設定は行われていません。
無線 LANをご使用になる前に、必ず無線 LANのセキュリティに関する設定を行ってください。（➡『操作マニュアル』「無線 LAN機能」、お使いの無線 LANアクセスポイントの取扱説明書）
無線 LANでは、LANケーブルを使用する代わりに電波を利用してパソコンと無線 LANアクセスポイント（別売り）との間で情報のやりとりを行います。このため、電波の届く範囲であればネットワーク接続が可能であるという利点があります。
その反面、ある範囲であれば障害物（壁等）を越えて電波が届くため、セキュリティに関する設定を行っていないと、次のような問題が発生する可能性があります。
●通信内容を盗み見られる
悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、次のような通信内容を盗み見る可能性があります。
• IDやパスワード
• クレジットカード番号等の個人情報
• メール内容
●不正に侵入される
悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のパソコンやネットワークへアクセスし、次のようなことを行う可能性があります。
• 個人情報や機密情報を取り出す（情報漏えい）
• 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
• 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
• コンピューターウイルスなどを流し、データやシステムを破壊する（破壊）
本機の無線 LAN機能や無線 LANアクセスポイントには、これらの問題に対応するためのセキュリティに関する設定が用意されています。本機では、使用する無線 LANアクセスポイントにあわせて設定をする必要があるため、お買い上げ時にはセキュリティに関する設定は行われていません。無線 LANをご使用になる前に、必ず無線 LANのセキュリティに関する設定を行ってください。
無線 LANのセキュリティに関する設定を行って使用することで、問題が発生する可能性は少なくなりますが、無線 LANの仕様上、特殊な方法で通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されたりする場合があります。ご理解のうえ、ご使用ください。
セキュリティに関する設定を行わないで使用した場合の問題を十分に理解したうえで、お客さまご自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行うことをお勧めします。お客さまご自身で対処できない場合は、お客様ご相談センターにご相談ください。

再インストールする

ソフトウェアを再インストールすると、パソコンは工場出荷時の状態に戻ります。重要なデータは、再インストール前に、他のメディアまたは外部ハードディスクにバックアップを取っておいてください。

お願い

●Windows 7のみ、再インストールすることができます。
●ハードディスク内の修復用領域は絶対に削除しないでください。

■準備

●次のものを準備してください。
・プロダクトリカバリー DVD-ROM（付属）
・DVD ドライブ（別売り）（使用できるDVD ドライブについては、最新のカタログなどをご確認ください。）
・パソコンをクレードル（別売り：CF-VEBH21U）に取り付けて、外部キーボードと外部マウスをクレードルに接続してください。
●すべての外部機器（DVD ドライブと外部キーボード、マウス以外）を取り外してください。
●クレードルの電源端子にACアダプターを接続し、操作が完了するまで取り外さないでください。
●以下の操作には、外部キーボードと外部マウスを使ってください。

1 **パソコンの電源を切り、DVD ドライブをクレードルのUSBポートに接続する。**

2 **パソコンの電源を入れて、「Panasonic」起動画面が表示されている間に、F2 または Del を押す。**
セットアップユーティリティが起動します。
・パスワードを設定している場合は、スーパーバイザーパスワードを入力して ↵ を押してください。

3 **セットアップユーティリティのすべての項目をメモし、F9 を押す。**
確認のメッセージが表示されたら[はい]を選び、↵ を押してください。

4 **F10 を押す。**
確認のメッセージが表示されたら[はい]を選び、↵ を押してください。
セットアップユーティリティが終了し、パソコンが再起動します。

5 **「Panasonic」起動画面が表示されている間に、F2 または Del を押す。**
セットアップユーティリティが起動します。
・パスワードを設定している場合は、スーパーバイザーパスワードを入力して ↵ を押してください。

6 **プロダクトリカバリー DVD-ROMをDVD ドライブにセットする。**

7 **「終了」メニューを選び、[デバイスを指定して起動]で接続したDVD ドライブを選ぶ。**

8 **↵ を押す。**
パソコンが再起動します。

9 **[Windowsを再インストールする。]をクリックして選び、[次へ]をクリックする。**
「使用許諾契約書」の画面が表示されます。

10 **[はい、上記の条文に同意します。処理を続けます。]をクリックして選び、[次へ]をクリックする。**

11 **再インストールの方法を選び、[次へ]をクリックする。**
[1] [ハードディスク全体を工場出荷状態に戻す。]
・工場出荷時の設定にする場合に選択します。新しいパーティションの作成については、「パーティションを変更する」(➡13ページ)をご覧ください。
[2] [最初の2パーティションに再インストールする。][※1]
・ハードディスクがいくつかのパーティションに分割されている場合に選択します。新しいパーティションの作成については、「パーティションを変更する」(➡13ページ)をご覧ください。

※1 修復用領域とWindowsで使える領域にWindowsを再インストールできない場合は表示されません。

12 **確認のメッセージが表示されたら、[はい] をクリックする。**
再インストールが始まります（約30分かかります）。
・パソコンの電源を切ったり、Ctrl + Alt + Del を押したりして、再インストールを中止しないでください。Windowsが起動しなくなったり、データが消失して再インストールを実行できなくなったりするおそれがあります。

13 **終了のメッセージが表示されたらプロダクトリカバリー DVD-ROMを取り出し、[OK] をクリックして電源を切る。**

14 **パソコンの電源を入れる。**
セットアップユーティリティが起動します。
・パスワードを設定している場合は、スーパーバイザーパスワードを入力して ↵ を押してください。

15 **「はじめて使うとき」の操作（➡11ページ）を実行する。**

16 **セットアップユーティリティを起動し、必要に応じて設定を変更する。**

17 **インターネットに接続できる場合は、（スタート）-［すべてのプログラム］-[Windows Update]をクリックし、Windows Updateを行う。**

困ったときのQ&A

トラブルが発生した場合は、下記の方法をお試しください。『操作マニュアル』でもさらに詳しい内容を紹介しています。ソフトウェアに関する問題については、各ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。それでも解決しない場合は、ご相談窓口にご相談ください（➡31ページ）。PC情報ビューアーを使ってパソコンの使用状態を確認することができます。（➡『操作マニュアル』「困ったときは（詳細編）」の「パソコンの使用状態を確認する」）

■電源を入れたとき

起動できない。 電源状態表示ランプまたはバッテリー状態表示ランプが点灯しない。	●ACアダプターを接続してください。 ●十分に充電されたバッテリーパックを取り付けてください。 ●バッテリーパックとACアダプターをいったん取り外し、取り付け直してください。 ●USB機器を接続している場合は、機器を取り外すか、セットアップユーティリティの「詳細」メニューで[USBポート]または[レガシーUSB]を[無効]に設定してください。（➡『操作マニュアル』「セットアップユーティリティ」）
パソコンが起動しない。 パソコンが Windows 7 スリープ/ Windows XP スタンバイからリジュームしない。 （電源状態表示ランプが短い間隔で緑色点滅する。）	●パソコンの電源を切り、5 ℃～ 35 ℃の温度環境に約1時間置き、その後電源を入れてください。
パスワードを忘れた。	●スーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードを忘れたとき：ご相談窓口にご相談ください（➡31ページ）。 ●コンピューターの管理者のパスワードを忘れたとき： ・パスワードリセットディスクがある場合は、管理者パスワードをリセットできます。ディスクをセットし、適当なパスワードを入力してパスワード入力エラーの画面を表示させてください。その後、画面の指示に従って、新しいパスワードを設定してください。 ・パスワードリセットディスクがない場合は、再インストールし（➡17ページ）、Windowsをセットアップして、新しいパスワードを設定してください。
Windows 7 Windowsにログオンできない。（「ユーザー名またはパスワードが正しくありません」と表示される。）	●ユーザー名に@が含まれています。 ・別のユーザー名があるとき 別のユーザー名でログオンし、@を含むユーザー名を削除してから、新しいユーザー名を作ってください。 ・別のユーザー名がないとき Windowsを再インストールしてください（➡17ページ）。
「Remove disks or other media. Press any key to restart」または同様のメッセージが表示される。	●システムを起動できないフロッピーディスクがセットされています。フロッピーディスクを取り出し、何かキーを押してください。 ●USB機器を接続している場合は、USB機器を取り外すか、セットアップユーティリティの「詳細」メニューで[レガシーUSB]を[無効]に設定してください。 ●上記を行っても解決しない場合は、ハードディスクに何らかの問題が発生していることがあります。ご相談窓口にご相談ください（➡31ページ）。

■ 電源を入れたとき

Windowsの起動および動作が遅い。	●セットアップユーティリティで F9 を押して（➡ 『操作マニュアル』「セットアップユーティリティ」）、設定（パスワード設定を除く）を工場出荷時の設定に戻してください。再度セットアップユーティリティを起動し、各種設定をしてください。（動作速度は、使用するアプリケーションソフトに依存することもあり、この操作により必ず速くなるわけではありません。） ●お買い上げ後にインストールした常駐アプリケーションソフトがある場合は、そのアプリケーションソフトの常駐を解除してください。 Windows 7 ●下記の操作で、ポップアップメニューと入力パネルタブを無効にしてください。 ① 入力パネルを開き、[ツール] - [オプション] - [開き方]をクリックする。 ② [タブから入力パネルをスライドさせて表示する]からチェックマークを外し、[OK]をクリックする。 Windows XP ●下記の操作で、インデックスサービスを無効にしてください。 [スタート] - [検索] - [設定を変更する] - [インデックスサービスを使わない]をクリックする。
日付と時刻が正しくない。	●下記の操作で正しい日付と時刻を設定してください。 Windows 7 （スタート）- [コントロール パネル] - [時計、言語、および地域] - [日付と時刻]をクリックする。 Windows XP [スタート] - [コントロール パネル] - [日付、時刻、地域と言語のオプション] - [日付と時刻]をクリックする。 ●解決しない場合は、データ保持用の内蔵クロックバッテリーの交換が必要になる可能性があります。ご相談窓口にご相談ください（➡31ページ）。 ●LANに接続している場合は、サーバーの日付と時間を確認してください。 ●本機では、西暦2100年以降は日付と時刻が正しく認識されません。
[バッテリー残量表示補正ユーティリティ]画面が表示される。	●バッテリー残量表示補正を実行したとき、Windowsが正しい手順で終了しなかったため補正が中断されました。補正を中止し、Windowsを起動するには、パソコンの電源をいったん切り、再度電源を入れてください。
リジュームできない。	●スクリーンセーバーが動作中に Windows 7 スリープ/ Windows XP スタンバイまたは休止状態に入ると、エラーになることがあります。スクリーンセーバーを無効にするか、別のスクリーンセーバーを使用してください。 ●次のいずれかの操作をした可能性があります。 ・ Windows 7 スリープ/ Windows XP スタンバイ状態のときに、ACアダプターとバッテリーパックまたは周辺機器の抜き挿しを行った。 ・電源スイッチを４秒以上押し、パソコンを強制終了した。 ●バッテリー残量がありません。 Windows 7 スリープ/ Windows XP スタンバイまたは休止状態でも電力は消費されます。

■電源を入れたとき

Windows 7 スリープ/ Windows XP スタンバイ/ 休止状態からリジュームしたとき、「パスワードを入力してください」が表示されない。	●セットアップユーティリティの「セキュリティ」メニューで[復帰時のパスワード]を[有効]または[自動]に設定してください(➡『操作マニュアル』「セットアップユーティリティ」)。 ●セットアップユーティリティのパスワードの代わりに、以下の手順でWindowsのパスワードを使用することもできます。 Windows 7 ① (スタート)-[コントロール パネル]-[ユーザーアカウントと家族のための安全設定]-[ユーザー アカウントの追加または削除]をクリックして、変更するアカウントをクリックし、パスワードを設定する。 ・標準ユーザーは管理者のユーザーアカウントのWindowsパスワードを入力します。 ② (スタート)-[コントロール パネル]-[システムとセキュリティ]-[バッテリー設定の変更]-[スリープ解除時パスワードの保護]をクリックし、[パスワードを必要とする]にチェックマークを付ける。 Windows XP ① [スタート]-[コントロール パネル]-[ユーザー アカウント]をクリックして、変更するアカウントをクリックし、パスワードを設定する。 ② [スタート]-[コントロール パネル]-[パフォーマンスとセキュリティ]-[電源オプション]-[詳細設定]をクリックし、[スタンバイから回復するときにパスワードの入力を求める]にチェックマークを付ける。
その他の起動時のトラブル	●セットアップユーティリティで F9 を押して(➡『操作マニュアル』「セットアップユーティリティ」)、設定(パスワード設定を除く)を工場出荷時の設定に戻してください。再度セットアップユーティリティを起動し、各種設定をしてください。 ●周辺機器をすべて取り外してください。 ●ディスクのエラーをチェックしてください。 Windows 7 ① 外部ディスプレイを含むすべての周辺機器を取り外す。 ② (スタート)-[コンピューター]をクリックし、[ローカルディスク(C:)]を右クリックして、[プロパティ]をクリックする。 ③ [ツール]-[チェックする]をクリックする。 ・標準ユーザーは管理者のユーザーアカウントのWindowsパスワードを入力します。 ④ [チェックディスクのオプション]で項目にチェックマークを付け、[開始]をクリックする。 ⑤ [ディスク検査のスケジュール]をクリックし、パソコンを再起動させる。 Windows XP ① [スタート]-[マイコンピュータ]をクリックし、[ローカルディスク(C:)]を右クリックして、[プロパティ]をクリックする。 ② [ツール]-[チェックする]をクリックする。 ③ [チェックディスクのオプション]で項目にチェックマークを付け、[開始]をクリックする。 ●下記の操作で、パソコンをセーフモードで起動し、エラーの内容を確認してください。電源を入れて「Panasonic」起動画面が消えたとき※1に、F8 を押し続け、「詳細ブートオプション」画面が表示されたら指を離してください。 ※1 セットアップユーティリティの「セキュリティ」メニューで[起動時のパスワード]を[有効]または[自動]に設定している場合、「Panasonic」起動画面が消えた後「パスワードを入力してください。」が表示されます。パスワードを入力し、↵ を押してすぐに F8 を押し続けてください。

■終了時

Windowsを終了できない。	●USB機器を取り外してください。 ●1～2分お待ちください。故障ではありません。

困ったときは

困ったときのQ&A

■ディスプレイ

画面に何も表示されない。	●外部ディスプレイ使用時は、 ・ケーブルの接続を確認してください。 ・外部ディスプレイの電源を入れてください。 ・外部ディスプレイの設定を確認してください。 ●省電力機能によって、ディスプレイの電源が切れています。リジュームするには、選択に使うキーは押さず、Ctrlなどのキーを押してください。 ●省電力機能によって、パソコンが Windows 7 スリープ/ Windows XP スタンバイ･休止状態に入りました。リジュームするには、電源スイッチを押してください。 Windows XP ●スタンバイ･休止状態からリジュームした後に画面が表示されないことがあります。その場合は、電源スイッチを押してスタンバイ状態にし、再度リジュームさせてください。
画面が暗い。	●ACアダプターが接続されていないと画面が暗くなる場合があります。 Panasonic Dashboardを使い、輝度を調整してください。ただし、輝度を上げるとバッテリーの消耗が早くなります。 ACアダプターを接続しているときと接続していないときの輝度は、別々に保存されます。
赤、青のドットが残る/正しい色が表示されない/画面の色や明るさにむらが見える。	●これらは故障ではありません。 ・本機に搭載のカラー液晶ディスプレイは精度の高い技術で作られていますが、画素欠けや常時点灯（赤、青、緑色）するものがあります。（有効画素：99.998 %以上、画素欠けなど：0.002 %以下） ・液晶ディスプレイの構造上の特性により、見る角度によって色や明るさにむらが見える場合があります。また、画面の色合いは製品によって異なる場合があります。
画面が乱れる。	●解像度や色数を変更すると画像が乱れることがあります。パソコンを再起動してください。 ●外部ディスプレイの接続や取り外しを行うと、画像が乱れることがあります。パソコンを再起動してください。
同時表示または拡張デスクトップモード時に片方の画面が乱れる。	●Windowsが完全に起動し終わるまで、同時画面表示を行うことはできません（セットアップユーティリティの画面を表示しているときなど）。 ●拡張デスクトップモード時は、内部LCDと外部ディスプレイを同じ色設定にしてください。 ●それでも問題が解決しない場合は、下記の操作でディスプレイを変更してみてください。 デスクトップを右クリックし、[グラフィック プロパティ] - [ディスプレイ デバイス]をクリックする。
外部ディスプレイが正しく動作しない。	●外部ディスプレイが省電力機能に対応していない場合、パソコンが省電力モードに入ると正しく動作しなくなることがあります。外部ディスプレイの電源を切ってください。
Windows 7 < GPS内蔵モデルのみ > ポインターを正しくコントロールできない。	●以下の手順を行ってください。 ① セットアップユーティリティの「詳細」メニューで[シリアルポート設定]の[GPS]を[無効]にする。 ② F10を押して確認画面で[はい]を選び、↵を押す。 パソコンが再起動します。 ③ 管理者のユーザーアカウントでWindowsにログオンする。 ④ （スタート）をクリックし、[プログラムとファイルの検索]に「c:¥util¥drivers¥gps¥GPS.reg」と入力して、↵を押す。 ⑤ [はい]をクリックし、[OK] をクリックする。 パソコンが再起動します。 ⑥「Panasonic」起動画面が表示されている間にF2またはDelを押す。 ⑦ セットアップユーティリティの「詳細」メニューで[シリアルポート設定]の[GPS]を[有効]にする。 ⑧ F10を押し、確認画面で[はい]を選び↵を押す。

■ 画面タッチ操作

ポインターが動かない。	●外部マウスを使用している場合は、正しく接続し直してください。 ●外部キーボードを接続している場合は、外部キーボードを操作して、パソコンを再起動してください。 Windows 7 (Windows) を押し、→を2回押し、↑を押して[再起動]を選び、Enterを押してください。 Windows XP (Windows)、U、Rを押して、[再起動]を選択してください。 ●外部キーボードで操作できない場合は、「応答がない。」(➡下記) をご覧ください。
付属のデジタイザーペンで正しい位置を指定できない。	●調整 (キャリブレーション) を実行してください (➡ 12ページ)。

■ 画面で見るマニュアル

PDF形式のファイルが表示されない。	●Adobe Readerをインストールしてください。 ① 管理者のユーザーアカウントでWindowsにログオンする。 ② Windows 7 (スタート) をクリックし、[プログラムとファイルの検索]に「c:¥util¥reader¥Pinstall.bat」と入力して、Enterを押す。 Windows XP [スタート] - [ファイル名を指定して実行]をクリックし、「c:¥util¥reader¥Pinstall.bat」と入力して、[OK]をクリックする。 画面の指示に従って操作してください。 ③ Adobe Reader を最新バージョンにアップデートする。 パソコンがインターネットに接続されている場合は、Adobe Reader を起動し、[ヘルプ] - [アップデートの有無をチェック]をクリックする。
Adobe Readerの全画面表示を終了することができない。	●全画面表示に切り替える前に、[編集] - [環境設定] - [フルスクリーンモード]をクリックし、[ナビゲーションバーを表示]のチェックボックスにチェックマークを付けてください。 ●上記の設定を行わずに全画面表示に切り替えたときは、パソコンにキーボードを接続し、Escを押してください。

■ その他

応答がない。	●Windows 7 Ctrl + Shift + Esc / Windows XP [🔑]を押してタスクマネージャを起動し、応答のないアプリケーションソフトを終了してください。 ●入力待ち画面 (起動時のパスワード入力画面など) が別のウィンドウで隠れていませんか？Alt + Tabを押して確認してください。 ●電源スイッチを4秒以上押して電源を切った後、再度電源スイッチを押して電源を入れてください。アプリケーションソフトが正しく動作しない場合は、下記の操作でそのソフトをアンインストールし、再度インストールしてください。 Windows 7 (スタート) - [コントロール パネル] - [プログラムのアンインストール]をクリックする。 Windows XP [スタート] - [コントロール パネル] - [プログラムの追加と削除] をクリックする。
バッテリー表示ランプが赤色に点灯する。	●ACアダプターを接続し、バッテリーを充電してください。バッテリーの残量が少なくなると休止状態に入るように設定されていたとしても、休止状態に入ることができない場合があります。

ソフトウェア使用許諾書

第１条　権利
お客さまは、本ソフトウェア（パソコン本体に内蔵のハードディスク、付属のマニュアルやCD-ROM/DVD-ROMなどに記録または記載された情報のことをいいます。インテル製ソフトウェアを含みます。）の使用権を得ることはできますが、著作権がお客さまに移転するものではありません。

第２条　第三者の使用
お客さまは、有償あるいは無償を問わず、本ソフトウェアおよびコピーしたものを第三者に譲渡あるいは使用させることはできません。

第３条　コピーの制限
本ソフトウェアのコピーは、保管（バックアップ）の目的のためだけに限定されます。

第４条　使用パソコン
本ソフトウェアは、本パソコン１台での使用とし、他のパソコンで使用することはできません。

第５条　解析、変更または改造
本ソフトウェアの解析、変更または改造などを行わないでください。お客さまの解析、変更または改造により、万一何らかの欠陥またはお客さまに対する損害が生じたとしても弊社および販売店などは一切の保証・責任を負いません。

第６条　アフターサービス
お客さまが使用中、本ソフトウェアに不具合が発生した場合、弊社窓口まで電話または文書でお問い合わせくだされば、お問い合わせの不具合に関して、弊社が知り得た内容の誤り（バグ）や使用方法の改良など必要な情報をお知らせいたします。

第７条　免責
本ソフトウェアに関する弊社および販売店などの責任は、上記第６条に限ります。本ソフトウェアのご使用にあたり生じたお客さまの損害および第三者からのお客さまに対する請求については、弊社および販売店などに故意または重過失がない限り、弊社および販売店などはその責任を負いません。

第８条　合意管轄
本ソフトウェアの使用に関して、訴訟の必要が生じた場合、お客さまおよび弊社は弊社の本社所在地を管轄する裁判所に対してのみ訴えを提起することができるものとします。

第９条　準拠法
本ソフトウェアの使用はあらゆる面において日本国の法律に支配され、かつそれに従って解釈されるものとします。

第10条　輸出管理
お客さまが、本ソフトウェアを日本国外に持ち出される場合、国内外の輸出管理に関連する法規を順守してください。

仕様 日本国内専用

本製品（付属品を含む）は日本国内仕様です。

■ 本体仕様

品番	CF-H2ASAAZDJ	CF-H2BDAAZDJ
CPU	インテル® Core™ i5-2557M vPro ™ プロセッサー（インテル® スマートキャッシュ 3 MB※1、動作周波数 1.70 GHz、インテル® ターボ･ブースト･テクノロジー 2.0 利用時は最大 2.70 GHz）	
チップセット	モバイルインテル® QM67 Express チップセット	
メインメモリー	標準 2 GB※1 DDR3 SDRAM	
グラフィックアクセラレーター	インテル® HD グラフィックス3000（インテル® Core™ i5-2557M vPro™ プロセッサーに内蔵）	
ビデオメモリー	Windows 7 最大 773 MB※1※2	
ハードディスクドライブ※3	160 GB （このうち約 300 MB をシステム（修復用）領域として使用（ユーザー使用不可））	
表示方式	10.1 型 TFT カラー液晶 XGA（1024 × 768 ドット）65536 色 / 約 1677 万色※4	
無線 LAN※5	Intel® Centrino® Advanced-N 6205 （➡26 ページ「無線 LAN」）	Intel® Centrino® Advanced-N 6230 （➡26 ページ「無線 LAN」）
Bluetooth™ ※6	➡26 ページ「Bluetooth™」	
ワイヤレス WAN※7	ワイヤレス WAN モジュール内蔵（FOMA® HIGH SPEED 対応）	
LAN※8	10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T	
サウンド機能	PCM 音源、インテル® High Definition Audio 準拠、モノラルスピーカー	
指紋センサー※9	アレイサイズ：192 × 4pixels、イメージサイズ：192 × 512pixels、イメージ解像度：508dpi	
バーコードリーダー※10	➡27 ページ「バーコードリーダー」	
カメラ※11	有効画素数：200 万画素、読み取り画素数：1600 × 1200 画素まで、LED 機能：搭載	
GPS※12	チップ: SiRF starIII 精度：10 m（2DRMS）<5 m（2DRMS、SBAS） プロトコル：GGA、GSA、GSV、RMC、VTG	
RFID リーダー※13	RF 周波数：13.56 MHz、準拠規格 ISO14443 TYPE-A、ISO14443 TYPE-B、ISO15693	
セキュリティチップ	TPM（TCG V1.2 準拠）※14	
インターフェース	USB ポート※15（Universal Serial Bus 2.0 準拠、4 ピン）× 1 または 2※16、LAN コネクター（RJ-45）※8、シリアルポート（RS232C Dsub 9 ピン）、拡張バスコネクター（19 ピン）× 1	
スマートカードスロット※17	ISO 7816 × 1	
ポインティングデバイス	タッチパネルおよびデジタイザー	
ボタン	ハンドル× 2※10※13、アプリケーション× 5、セキュリティ	
電源	AC アダプターまたはバッテリーパック	
AC アダプター ※18	入力：AC 100 V ～ 240 V、50 Hz/60 Hz、出力：16.0 V DC、3.75 A、電源コードは 100 V 専用	
バッテリーパック	7.2 V（リチウムイオン）、公称容量 3400 mAh / 定格容量 3200 mAh × 2 個	
駆動時間※19	Windows 7 約 7 時間	
充電時間※20 電源オン時	約 3 時間	
充電時間※20 電源オフ時	約 3 時間	
消費電力	最大約 50 W※21 （社）電子情報技術産業協会 情報処理機器 高調波電流抑制対策実行計画書に基づく定格入力電力値：30 W 23-J-1-1	
外形寸法（幅×奥行き×高さ）（ハンドストラップを除く）	274 mm × 58 mm × 268 mm	
質量※22（ハンドストラップを含む）	約 1.58 kg	
使用環境条件	温度：-10 ℃～ 50 ℃ （IEC60068-2-1, 2）※23	温度：5 ℃～ 35 ℃
	湿度：30 %～ 80 % RH（結露なきこと）	
保管環境条件	温度：-40 ℃～ 85 ℃	温度：-20 ℃～ 60 ℃
	湿度：30 %～ 90 % RH（結露なきこと）	

仕様 日本国内専用

■ ソフトウェア

品番	CF-H2ASAAZDJ	CF-H2BDAAZDJ
OS※24	**Windows 7** Windows® 7 Professional 32ビット正規版（Service Pack 1適用済み）（日本語版） Windows® 7 Professional 64ビット正規版（Service Pack 1適用済み）（日本語版） **Windows XP** Microsoft® Windows® XP Tablet PC Edition Service Pack 3正規版※25	
インストールOS※24	Windows® 7 Professional 32ビット正規版（Service Pack 1適用済み）（日本語版）	
導入済みソフトウェア※24	Adobe Reader、PC情報ビューアー、ズームビューアー、無線切り替えユーティリティ、Bluetooth™ Stack for Windows® by TOSHIBA※6、バッテリー残量表示補正ユーティリティ、手書きユーティリティ、Infineon TPM Professional Package※14※26、Panasonic Dashboard、アプリケーションボタン設定ユーティリティ、クリーニングユーティリティ、画面切り替えユーティリティ、Protector Suite QL※9※26、MCAコンフィグレーションエディター、PC情報ポップアップ、カメラユーティリティ※11※26、ライトクリックユーティリティ、カメラライトスイッチユーティリティ※11※26、ソフトウェアキーボード※26、無線接続無効ユーティリティ※26、ワイヤレスWAN拡張機能設定ユーティリティ※7	
	Windows 7 ネットセレクター 2、クイックブートマネージャー、Windows Media Player 11 **Windows XP** ネットセレクター、Windows Media Player 10、フォントサイズ拡大ユーティリティ	
	Aptioセットアップユーティリティ、ハードディスクデータ消去ユーティリティ※27、PC-Diagnosticユーティリティ	

■ 無線 LAN

データ転送速度※28	IEEE802.11a：　54/48/36/24/18/12/9/6 Mbps IEEE802.11b：　11/5.5/2/1 Mbps IEEE802.11g：　54/48/36/24/18/12/9/6 Mbps IEEE802.11n 20 MHz時：　6/13/19/26/39/52/58/65/78/104/117/130 Mbps 20 MHz、Short GI有効時：7/14/21/28/43/57/65/72/86/115/130/150 Mbps 40 MHz 時：　13/27/40/54/81/108/121/135/162/216/243/270 Mbps 40 MHz、Short GI有効時：15/30/45/60/90/120/135/150/180/240/270/300 Mbps
準拠規格	ARIB STD-T66/ARIB STD-T71 IEEE802.11a（W52/W53/W56）、IEEE802.11b、IEEE802.11g、IEEE802.11n※29
伝送方式	OFDM方式、DS SS方式
有効距離※30	IEEE802.11a/n：見通し約30 m IEEE802.11b/g/n：見通し約50 m（アクセスポイントとの通信時）
使用無線チャンネル	インフラストラクチャ通信モード： IEEE802.11a/n：　36/40/44/48チャンネル（W52） 52/56/60/64チャンネル（W53） 100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140チャンネル（W56） IEEE802.11b/g/n：1～13チャンネル ad hoc通信モード： IEEE802.11b/g：　1～11チャンネル
RF周波数帯域	2.4 GHz帯域（2.4 GHz～2.4835 GHz） 5 GHz帯域（5.15 GHz～5.35 GHz、5.47 GHz～5.725 GHz）※31

■ Bluetooth™ ※6

Bluetoothバージョン	2.1 ＋ EDR
伝送方式	FHSS方式
使用無線チャンネル	1～79チャンネル
RF周波数帯域	2.402 GHz～2.480 GHz

■ バーコードリーダー※10

読み取り方式		CMOSリーディング
光源		発光ダイオード
分解能		1D： 0.127 mm 2D： PDF417 0.17 mm
角度	スキュー角	±60°（前後）
	ピッチ角	±60°（左右）
外光特性		100,000 lx

※1 1 KB＝1,024バイト/1 MB＝1,048,576バイト/1 GB＝1,073,741,824バイト
※2 パソコンの動作状況により、メインメモリーの一部が自動的に割り当てられます。サイズを設定しておくことはできません。ビデオメモリーのサイズはOSにより割り当てられます。
※3 1 MB＝1,000,000バイト/1 GB＝1,000,000,000バイト。OSまたは一部のアプリケーションソフトでは、これよりも小さな数値でGB表示される場合があります。
※4 グラフィックアクセラレーターのディザリング機能を使用して約1677万色表示を実現しています。
※5 無線LAN内蔵モデルのみ。
※6 Bluetooth内蔵モデルのみ。
<ヘルスケアモデルのみ>
コンティニュア実装ガイドラインVer.1.5に対応。（ただし接続可能な機器は、血圧計、体重計、歩数計のみ）
※7 ワイヤレスWAN内蔵モデルのみ。
※8 LAN内蔵モデルのみ。コネクターの形状によっては使用できないものがあります。
※9 指紋センサー内蔵モデルのみ。
※10 バーコードリーダー内蔵モデルのみ。
※11 カメラ内蔵モデルのみ。
※12 GPS内蔵モデルのみ。
※13 RFIDリーダー内蔵モデルのみ。
※14 <セキュリティチップ内蔵モデルのみ>
TPMについて、詳しくは『内蔵セキュリティチップ（TPM）ご利用の手引き』をご覧ください。
Windows 7
（スタート）をクリックし、[プログラムとファイルの検索]に「c:¥util¥drivers¥tpm¥index.hta」と入力して、Enterを押す。
Windows XP
[スタート] - [ファイル名を指定して実行]をクリックし、「c:¥util¥drivers¥tpm¥index.hta」と入力し、[OK]をクリックする。
※15 USB対応のすべての周辺機器の動作を保証するものではありません。
※16 2nd USB 2.0ポート内蔵モデルのみ。
※17 スマートカードスロット内蔵モデルのみ。
※18 本製品はAC100 V対応の電源コードを使用するため、AC100 Vのコンセントに接続して使用してください。（➡3ページ）

20-J-1

※19 JEITAバッテリー動作時間測定法（Ver.1.0）による駆動時間（セットアップにてカメラを無効にした場合）。バッテリー駆動時間は、動作環境 /システム設定により変動します。
※20 バッテリー充電時間は動作環境・システム設定により変動します。
※21 パソコンの電源が切れていて、バッテリーが満充電や充電していないときはパソコン本体で約0.6 Wの電力を消費します。ACアダプターをパソコン本体に接続していなくても、電源コンセントに接続したままにしていると、ACアダプター単体で最大0.5 Wの電力を消費します。
※22 平均値。各製品で質量が異なる場合があります。
※23 高温環境・低温環境で使用する場合、直接触れないでください。（➡5ページ）
高温環境・低温環境で使用する場合、周辺機器の一部は正常に動作しない場合があります。周辺機器の使用環境条件を確認してください。
高温環境で継続的に使用すると製品寿命が短くなります。このような環境での使用は避けてください。
低温環境で使用する場合、起動に時間がかかったり、バッテリー駆動時間が短くなったりすることがあります。また、バッテリー駆動の場合、起動時にハードディスクの予熱に電力を消費するため、バッテリー残量が少ないとパソコンが起動しない場合があります。

※24 お買い上げ時にインストールされているOSまたは本機に付属のプロダクトリカバリー DVD-ROMを使ってインストールしたOSのみサポートします。プロダクトリカバリー DVD-ROMに収録されているソフトウェアの一部は、機種によっては導入されない場合があります。

※25 Windows XPダウングレード済みモデルは、Windows 7 Professionalモデルをご購入されたお客さまの権利であるOSのダウングレード権の行使を、当社がお客さまに代わってWindows XP Professionalをインストールしてご提供するモデルです。

※26 使用するにはインストールが必要です。

※27 プロダクトリカバリー DVD-ROMが必要です。

※28 無線LAN規格の理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。

※29 IEEE802.11n準拠の表記は、他のIEEE802.11n対応製品との接続性を保証するものではありません。

※30 有効距離は、電波環境、障害物、設置環境などの周囲条件や、アプリケーションソフト、OSなどの使用条件によって異なります。

※31 IEEE802.11a準拠の無線LANは、無線通信に5 GHz帯を使用しています。IEEE802.11aの5.2 GHz/5.3 GHz帯（W52、W53）を使って屋外で通信を行うことは、電波法で禁止されています。無線LANの電源がオンの状態で本機を屋外で使用する場合は、あらかじめIEEE802.11aを無効に設定しておいてください。
5.47 GHz ～ 5.725 GHzの周波数帯域（W56）の屋外での使用については電波法で禁止されていません。

この装置は、クラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

2-J-2

本装置は、社団法人　電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策規格を満足しております。しかし、本規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じる場合があります。（社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策規格に基づく表示）

3-J-1-1

重要なお知らせ

- ●お客さまの使用誤り、その他異常な条件下での使用により生じた損害、および本機の使用または使用不能から生ずる付随的な損害について、当社は一切責任を負いません。
- ●本機は、医療機器、生命維持装置、航空交通管制機器、その他人命にかかわる機器 / 装置 / システムでの使用を意図しておりません。本機をこれらの機器 / 装置 / システムなどに使用され生じた損害について、当社は一切責任を負いません。
- ●本機は、医療診断目的で画像を表示することを意図しておりません。
- ●お客さままたは第三者が本機の操作を誤ったとき、静電気などのノイズの影響を受けたとき、または故障 / 修理のときなどに、本機に記憶または保存されたデータなどが変化 / 消失するおそれがあります。大切なデータおよびソフトウェアを思わぬトラブルから守るために、➡15 ～ 16ページの内容に注意してください。

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報
この記号はヨーロッパ連合内でのみ有効です。
本製品を廃棄したい場合は、日本国内の法律等に従って廃棄処理をしてください。

53-J-1

＜無線 LAN/Bluetooth内蔵モデルのみ＞
日本国内で無線 LAN/Bluetoothをお使いになる場合のお願い
この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

① この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
② 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止したうえ、ご相談窓口にご連絡いただき、混信回避のための処置等（例えばパーティションの設置など）についてご相談ください。
③ その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときには、ご相談窓口にお問い合わせください。

＜無線 LAN内蔵モデルのみ＞
2.4DS/OF4　この機器が、2.4 GHz周波数帯（2400から2483.5 MHz）を使用する直接拡散（DS）方式 / 直交周波数分割多重変調（OF）の無線装置で、干渉距離が約40 mであることを意味します。　25-J-2-1

＜ Bluetooth内蔵モデルのみ＞
2.4FH8　この機器が、2.4 GHz周波数帯（2400から2483.5 MHz）を使用する周波数ホッピング（FH）方式の無線装置で、干渉距離が約80 mであることを意味します。　25-J-3-1

5 GHz帯の無線 LANをお使いになる場合のお願い
5 GHz帯の無線 LANは、電波法の規制により、屋外で使用できません。
お客さまが2.4 GHz帯 11nモードで無線 LANをお使いの際に、無線 LANのデバイス・プロパティにて802.11nチャンネル幅を「自動」（40 MHz帯域幅も可能）へ設定を変更される場合には、周囲の電波状況を確認して他の無線局に電波干渉を与えないことを事前に確認してください。また万一、他の無線局において電波干渉が発生した場合には、本設定を20 MHzへ戻してください。　43-J-2

保証とアフターサービス（よくお読みください）

使い方・お手入れ・修理などは…
■ まず、お買い上げの販売店へご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	
電　話	（　　　）　　－
お買い上げ日	年　月　日

■ 海外での使用について

本製品は日本国内仕様であり、海外の規格などには準拠しておりません。海外での使用について、当社では一切責任を負いかねます。
また、当社では本製品に関する海外でのアフターサービスおよび消耗品、別売り品の供給は行っておりません。

This product cannot be used in foreign country as designed for Japan only.

修理を依頼されるときは…

本書の「困ったときのQ&A」および『操作マニュアル』の「困ったときは（詳細編）」に従ってご確認の後、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、サポートデスクへご連絡ください。

修理を依頼されるときは、お買い上げ日と次の内容をご連絡ください。
- ●製品名　　パーソナルコンピューター
- ●品　番　　CF-
- ●故障の内容（できるだけ具体的に）

引き取り修理サービスとは

修理時に、当社指定の宅配業者が専用梱包箱を持ってパソコン修理品の引き取りにお伺いし、修理が完了した後、直ちに宅配業者がお届けする、早くて便利な修理サービスです。

●保証期間中は、保証書の規定に従って修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品と保証書をご準備いただき、サポートデスクにご相談ください。また、引き取り修理の送料は当社が負担させていただきます。
また、出張修理（オンサイト）サービスもご希望により有償で対応可能です。
保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間 [ただし、バッテリーパックなどの消耗品は保証期間内でも「有償」とさせていただきます。]

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。また、引き取り修理の送料はお客さまのご負担となります。

※修理料金は次の内容で構成されています。

- 技術料　診断・修理・調整・点検などの費用
- 部品代　部品および補助材料代
- 送　料　修理品を引き取り、またはお届けする費用
- 出張料　技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間　6年
当社は、このパーソナルコンピューターの補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後6年保有しています。

■転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください

ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

●使い方・お手入れなどのご相談は…

パナソニックパソコンお客様ご相談センター　365日 受付9時～20時

電　話　フリーダイヤル　0120-873029（パナソニック）

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

※発信者番号通知のご協力をお願いいたします。
非通知に設定されている場合は
「186-0120-873029」におかけください
（はじめに「186」をダイヤル）。

・上記電話番号がご利用いただけない場合（発信者番号を非通知でお電話いただく場合を含む）は

(06)6905-5067

ＦＡＸ　(06)6905-5079

365日／受付9時～20時

（パソコン製品の使い方や技術的なご質問も承っております。）

※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。
ご了承ください。

●修理に関するご相談は…

サポートデスク

電　話　フリーダイヤル　0120-05-8729

フリーダイヤルがご利用できない場合は

011-330-1911

ＦＡＸ　ナビダイヤル（全国共通番号）　0570-00-8742

ナビダイヤルがご利用できない場合は

011-330-1912

受付時間　9時～21時
年末年始(12/30～1/4)を除く

（2011年9月1日現在）

【ご相談窓口におけるお客さまの個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客さまの個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パソコンを廃棄または譲渡するときには、パソコン内に記録されているお客さまの重要なデータが流出するというトラブルを回避するために、必ずデータ消去を行ってください。データ消去の手順については、『操作マニュアル』の「ハードディスクの内容をすべて消去する」をご覧ください。

本機を廃棄・譲渡する際のデータの消去に関しては、下記の情報窓口をご利用ください。

- パナソニックのWebページ
  http://panasonic.biz/pc/recycle/product_recycle/data_delete_office.html
- パナソニックパソコンお客様ご相談センター（フリーダイヤル 0120-873029（パナソニック））
- リース、レンタル会社への返却については、リース、レンタル会社の問い合わせ窓口

事業系パソコンのリサイクルについて

事業系使用済みパソコンの回収・リサイクルについては、下記Webページをご覧ください。
http://panasonic.biz/pc/recycle/product_recycle/office.html

消耗品・有寿命部品について

本機の部品は、使用しているうちに少しずつ劣化・摩耗します。また、一部の部品の劣化・摩耗が原因で、製品としての性能が十分に発揮されない場合があります。本機を長く、安全に使用していただくためには、劣化・摩耗した部品を交換することが必要です。当社では、劣化・摩耗の進み方の違いによって、部品を消耗品と有寿命部品に分類して扱っています。

種類	部品	備考
消耗品	バッテリーパック 保護フィルム デジタイザーペン ペン用ケーブル	・お客さまご自身で購入し、交換していただく部品です。 ・保証期間内でも有償です。
有寿命部品	ハードディスクドライブ LCD（液晶ディスプレイ） ACアダプター リチウム電池 ハンドストラップ	・修理による再生ができない場合（部品の寿命）に交換する部品です。 ・保証期間内の修理は無償ですが、部品の寿命による交換は、有償になる場合があります。 ※ 有寿命部品の交換の目安は、事務室で8時間/1日、250日/1年の使用で約5年です。ただし、昼夜連続して使用するなど、使用状態によっては保証期間内でも部品の寿命による交換が必要になる場合があります（有償になる場合があります）。

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、コンピューターをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピューター、ディスプレイ、プリンター、ファクシミリおよび複写機などのオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク（ロゴ）は参加各国の間で統一されています。

22-J-1

●使い方・お手入れなどのご相談は…

パナソニック パソコンサポート総合サイト

http://askpc.panasonic.co.jp/index.html

パナソニックパソコンお客様ご相談センター 365日 受付9時～20時

電　話　フリーダイヤル　0120-873029（パナソニック）

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。
※発信者番号通知のご協力をお願いいたします。
　非通知に設定されている場合は「186-0120-873029」におかけください（はじめに「186」をダイヤル）。
・上記電話番号がご利用いただけない場合（発信者番号を非通知でお電話いただく場合を含む）は
(06)6905-5067

ＦＡＸ　(06)6905-5079

365日／受付9時～20時
（パソコン製品の使い方や技術的なご質問も承っております。）
※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

●修理に関するご相談は…

サポートデスク

電　話　フリーダイヤル　0120-05-8729
フリーダイヤルがご利用できない場合は
011-330-1911

ＦＡＸ　ナビダイヤル（全国共通番号）　0570-00-8742
ナビダイヤルがご利用できない場合は
011-330-1912

受付時間　9時～21時
年末年始（12/30～1/4）を除く

・有料で宅配便による引き取り・配送サービスも承っております。

ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

愛情点検　長年ご使用のパソコンの点検を！

こんな症状はありませんか	・異常な音やにおいがする ・水や異物が入った

ご使用中止	故障や事故防止のため、電源を切って電源プラグを抜き、その後バッテリーパックを取り外して、必ずご相談窓口に点検をご依頼ください。

パナソニック株式会社　ITプロダクツビジネスユニット

〒570-0021　大阪府守口市八雲東町一丁目10番12号

Printed in Japan

SS0911-0
DFQW5563ZA